

KiKiの広場

2019年 4月 1日

cafe NO.102
KiKi



新年度の始まりです。そして、平成最後の月でもあります。真締川の桜も咲き始め、美しい風景の中、身の引き締まる思いです。今年度もいろいろなことに挑戦し、充実した1年にしたいと思います。

みなさま、どうぞよろしくお願ひいたします。

4月の予定

休館日	9 (火)
定休日	毎土・日曜日

お願ひとお詫び

誠に勝手ながら、都合により右記の日程で、臨時休業させていただきます。

今月はお休みが多く、大変ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

臨時休業日

毎月曜日・10日(水)
16日(火)～19日(金)



「今月のケーキ」・・・「苺ミルクティーケーキ」 350円

淡いピンク色に焼き上げた苺スポンジに、香りのよいアールグレイを使った紅茶のホイップクリームを合わせてあります。天面にはボリューム感のある絞りが施され、苺を贅沢にトッピング。最後にのせられた“花型チョコオーナメント”が可愛い、春らしいケーキです。

今月のお気に入り・・・「春を思いっきり楽しみたい絵本」

～「ひみつのひきだしあけた?」「とべバッタ」「はるがきた」「はるはゆらゆら」「たんぽぽ」「なのはなみつけた」などなど～



「ひみつのひきだしあけた?」は、チイばあちゃんが主役の春らしくほのぼのするお話です。引き出しをあけると、あらあら不思議、引き出しがするするするする伸びて家の外まで。中身は子どもたちにとってはたまらないお宝が。いったいどうなるんだろうと、ワクワクします。何よりチイばあちゃんの家や庭がとっても可愛くて素敵です。「とべバッタ」は、田島征三さんの力強い絵と言葉に、読むだけで勇気をもらえます。ちょっぴり落ち込んだ時に読みたくなる絵本です。



今月の本棚・・・「灰谷健次郎の世界」

～「兎の眼」「いっちゃんはね、おしゃべりがしたいのにな」「ろくべえまっろよ」「太陽の子」「先生けらいになれ」などなど～



灰谷健次郎さんの特集です。絵本の作品は少なく殆どが児童書です。私は中学生の時「兎の眼」に出会い、新米教師の小谷先生の葛藤と成長していく姿に衝撃を受けて、泣きながら一気に読みました。その後「太陽の子」を始め灰谷作品に夢中になり、かたっぱしから読んだ時期があります。絵本では長新太さんが絵を描いた「ろくべえまっろよ」が有名ですが、私は「いっちゃんはね、おしゃべりがしたいのにな」も大好きです。なかなか自分の思いを口に出せないいっちゃんと、ここでもやっぱり新米のいくこ先生の一生懸命な思いが、長谷川集平さんの絵から伝わってきて、胸がいっぱいになります。



ほっとフレイク

この春も出会いと別れが・・・学生のHさんとMさんが無事に卒業して巣立って行きました。実は就職先が東京の同じ会社だったと聞いてみんなびっくり!!お互い知らなかったそうです。ずっと実家暮らしだったHくんは、いきなりの一人暮らし、しかも都会、自分で、「大丈夫かなあ?」と不安いっぱい・・・。親知らずを抜くだけでビビりまくっていたHくん、一緒の職場になることはないかもしれませんが、しっかり者のMさんが同じ会社にいるというのは何となく心強いのではないかなと、そんな縁を嬉しく思いました。

そして、新しく2人の若者が仲間入りしました。今までで一番若い2人ですが、それぞれ自分の思いや目標をしっかり持っていて、とても頼もしい若者たちです。平成が終わり新しい年号に向けて、ヒストリアにも新しい風が吹きそうな嬉しい予感がします。